

貧困研究会

第35回定例研究会 のおしらせ

生活困窮者支援の現場からv.2

「貧困研究会」（日本学術会議協力学術研究団体）は、さまざまな領域における貧困に関する調査・研究を行い、その成果を公開するとともに、国内外の研究者相互の交流と協力の促進を行うことを目的にして、2007年12月に設立した学会です。

貧困研究会第35回定例研究会では「生活困窮者支援の現場から」と題し、コロナ禍において、第一線で活躍されている支援者にご報告いただきます。

『貧困研究』25号（2020年12月発行）では、「コロナ禍の貧困」特集を組み、取り急ぎ、現下で生じたできごとについて語る座談会を企画しました。今回は、同特集の継続企画の一環として、生活困窮者自立支援法にもとづく相談支援事業等を担っている支援者に、さまざまな政策的対応の過程や、支援の現場で起きていることをご報告いただきます。依然としてコロナ禍は継続し、困窮の度合いを深める人が少なくないことが報道されています。コロナ禍によって顕在化した問題、コロナ禍以前から孕まれる問題、新たな問題など、について考える研究会になればと考えます。

日 時 2021年8月24日（火） Zoomによるオンライン開催

18:00～19:30（接続開始17:45～）

報告者 島田 将太氏

（船橋市保健と福祉の総合相談窓口さーくる）

お申込み：下記 URL または QR コードからお申し込みください（開催3日前をめぐりに Zoom の URL をお送りします）

<https://forms.gle/sByVmkYRUGKe8pANA>

※非会員の方も参加できます。 参加費無料



貧困研究会

E-mail: admin(at)hinkonken.org HP: http://hinkonken.org/